家族と話せている毎日に感謝しないと

いのちの集会で大宮先生が家族の大切さを語る！

先日、リュックサックに十一キログラムの荷物を詰め込んで、自宅から『愛東マーガレットステーション』までの往復約十六キロメートルを歩きました。途中、通勤時に車で五分ほどで行けるところまで、徒歩で五十分かかっているのを確認しながら、往路で一時間四十五分かかりました。マーガレットステーションでは、昼食をとってジェラートを食べて、復路は二時間三十分かかりました。いつも通勤で利用している道ですが、見える景色が違っていて、いろいろな発見がありましたが、筋肉痛が数日続きました。

さて、先日、今年度初めての『いのちの集会』を行いました。今回は三年部の大宮先生が担当でした。『いのちの集会』は、全校で命の大切さについて考える全校道徳です。大宮先生は、昨年の五月に第一子を授かり、父親としての一歩を歩みはじめてわかった親の思いや命の大切さを、動画を交えて生徒に語りました。大宮先生は授業後、今回の授業を振り返って次のように話していました。

命の誕生は三億分の一という奇跡の確率です。そんな奇跡の確率でこの世に誕生してきた待望の子どもがみんなです。しかし、思春期まっただ中の中学生は、気持ちの起伏などで、どうしても親に強く当たってしまいがちです。これまでの十三～十五年間、親がどれだけの思いと苦労を経て育ててこられたことか。今回の「いのちの集会」では、さまざまな確率、私の実体験、動画などを用いて、全校生徒に向けて「親に対する感謝の気持ちを、少しでも思い起こさせたい」という思いで授業をしました。

生徒の感想

今日のいのちの集会で私は、親の大切さを学びました。日頃は、はむかったり、八つ当たりしたりしてしまうことの方が多いけど、今こうやって家族で過ごせている毎日に感謝しないといけないと同時に親のありがたさを日頃から感じることがなかなかできないと思いました。

大切だと感じることは親に反抗するときもいっぱいあるけど、自分が生まれてからずっと私のために時間を取ってくれたり、お世話してもらったのを初めて知りました。小さい頃からたくさん苦労かけたと思いました。今も苦労かけてくるいろと思うけど、もっと大きくなったら、お父さんにもお母さんにも心配かけずに生きていこうと思った。自分が生まれてこられたことと、両親に感謝したいと思いました。

学期毎に計画されている、湖東中学校の「いのちの集会」。これからもいろいろな話を聞いて、こころを耕していってほしいと思います。

PTA主催スマホ安全教室！

自分では気をつけているつもりだったけど！

六月十九日、PTA生活指導部主催の全校生徒を対象に「スマホ・ケータイ安全教室」を開催しました。

当日は、NTTドコモから講師の方をお招きして、約一時間の講演をしていただきました。自分たちの生活の中でも起こりえる事件を動画で見せてもらう中で、生徒一人ひとりがいろんな思いを持ったと思います。これからの生活に生かしてくれたらと思います。

生徒の感想

私は中学二年の夏頃からスマートフォンを持ちました。スマートフォンを持つ前からトラブルに巻き込まれる怖さや、スマホを使うにあたって心がけることには気をつけていました。今でもしっかり気をつけているつもりでしたが、今日のお話を聞いて、もっとしっかりスマホの使い方に気をつけるべきだと思いました。最近のニュースでは、動画の炎上トラブルが多く取り上げられています。炎上してしまってから反省し、いくら謝っても、動画は完全に消すことができません。スマホに使われず、賢い使い方でスマホを正しく利用したいです。

中高生の7人に1人がゲーム障害

市教育委員会から情報提供がありました！！

東近江市教育委員会から、先日次のような情報提供がありました。是非参考にしていただいて、ご家庭でも話題にしていただけたらと思います。

インターネット依存は、ネットやオンラインゲーム、SNSなどを使い過ぎる状態で、日常生活に支障が出て、暴力や引きこもり、うつ病などの合併症や脳の障害を引き起こす恐れがあります。

厚生労働省は昨年八月、病的なネット依存が疑われる中高生は、五年間で倍増し、推計九十三万人に上ると発表しました。全体の七人に一人に当たります。そのうち半数前後が、ネットのやり過ぎで成績低下を経験していました。

「ゲームへの依存」について、WHO（世界保健機関）は、昨年六月、「ゲーム障害」として新たな疾病に認定すると発表しました。このゲーム障害に陥ると、事態は深刻さを増していきます。

ゲームに集中するのは夜間・深夜が中心です。**睡眠時間が短くなり、学業に影響が出る**のは当然です。深夜も画面から発されるブルーライトにさらされ、体内リズムを夜型に乱してしまいます。

オンラインゲームでは、チームプレイがほとんどで自分だけ抜けると他人に迷惑をかけることになり、**やめることは難しく、家族からの制止は、家庭内暴力に至ることも**あります。

もっとも深刻な問題は**課金**です。オンラインではクレジット課金での購入も容易で、本人の罪悪感は薄れがちです。知らない間に数十万円の高額請求になったケースもあります。アイテムや武器の入手のために、**ないしょで親のお金に手を出す**などのケースもあります。

ゲームで好成績をあげれば、達成感を得られ、承認欲求も満たされます。成績のことで悩んでいる自尊心の低下した現状から逃避できます。しかし、これは言うまでもなく悪循環であり、ますます依存が形成されていくことになるのです。

思春期の子どもたちへの対応は、正直なところ難しいところもありますが、子どもの命にもつながりかねない現状をかんがみ、子どもと向き合いましょう。